

定 期 作 況 報 告

令和8年9月
(9月20日現在)



道総研

北見農業試験場

1. 気象経過

1) 前年（令和7年）9月以降の経過は気象表のとおり

2) 本年（令和8年）4月以降の経過

4月上旬： 最高気温、最低気温、平均気温は極めて高かった。降水量は平年より少なく（平年比47%）、日照時間は平年並であった（平年比98%）。

4月中旬： 最高気温は高く、最低気温はやや低く、平均気温はやや高かった。降水量は平年より少なく（平年比2%）、日照時間はやや多かった（平年比127%）。

4月下旬： 最高気温は平年並、最低気温、平均気温はやや低かった。降水量は平年より少なく（平年比19%）、日照時間は平年並であった（平年比110%）。

5月上旬： 最高気温、最低気温、平均気温は平年並であった。降水量は極めて多く（平年比211%）、日照時間は平年並であった（平年比87%）。

5月中旬： 最高気温は平年並、最低気温、平均気温はやや低かった。降水量は少なく（平年比17%）、日照時間はやや少なかった（平年比77%）。

5月下旬： 最高気温は高く、最低気温、平均気温はやや高かった。降水量は少なく（平年比35%）、日照時間は平年並みであった（平年比108%）。

6月下旬 最高気温は高く、最低気温、平均気温はやや高かった。降水量は平年並み（平年比115%）、日照時間は平年並みであった（平年比111%）。

6月中旬： 最高気温は極めて高く、最低気温はやや高く、平均気温は高かった。降水量は多く（平年比180%）、日照時間はやや多かった（平年比121%）。

6月下旬 最高気温は極めて低く、最低気温はやや低く、平均気温はやや低かった。降水量は極めて多く（平年比207%）、日照時間はやや少なかった（平年比73%）。

7月上旬 最高気温、最低気温、平均気温は平年並みであった。降水量は平年並み（平年比88%）、日照時間は平年並みであった（平年比111%）。

7月中旬 最高気温、最低気温、平均気温は極めて高かった。降水量はやや多く（平年比123%）、日照時間は少なかった（平年比41%）。

7月下旬 最高気温は極めて低く、最低気温は低く、平均気温は極めて低かった。降水量は少なく（平年比33%）、日照時間はやや少なかった（平年比60%）

8月上旬 最高気温は平年並み、最低気温は低く、平均気温は極めて低かった。降水量は少なく（平年比10%）、日照時間は多かった（平年比166%）。

8月中旬 最高気温、最低気温、平均気温は極めて高かった。降水量は少なく（平年比15%）、日照時間は多かった（平年比189%）。

8月下旬 最高気温はやや低く、最低気温は低く、平均気温はやや低かった。降水量は平年並み（平年比81%）、日照時間はやや多かった（平年比137%）。

9月上旬 最高気温、最低気温、平均気温は極めて低かった。降水量はやや少なく（平年比71%）、日照時間はやや少なかった（平年比71%）。

9月中旬 最高気温は極めて高く、最低気温はやや低く、平均気温はやや高かった。降水量は少なく（平年比8%）、日照時間はやや多かった（平年比135%）。

根雪始は平年より10日早い12月3日、根雪終は平年より5日早い3月29日で、積雪期間は平年より5日長い117日間であった。耕鋤始は平年より11日早い4月9日であった。

3) 季節表

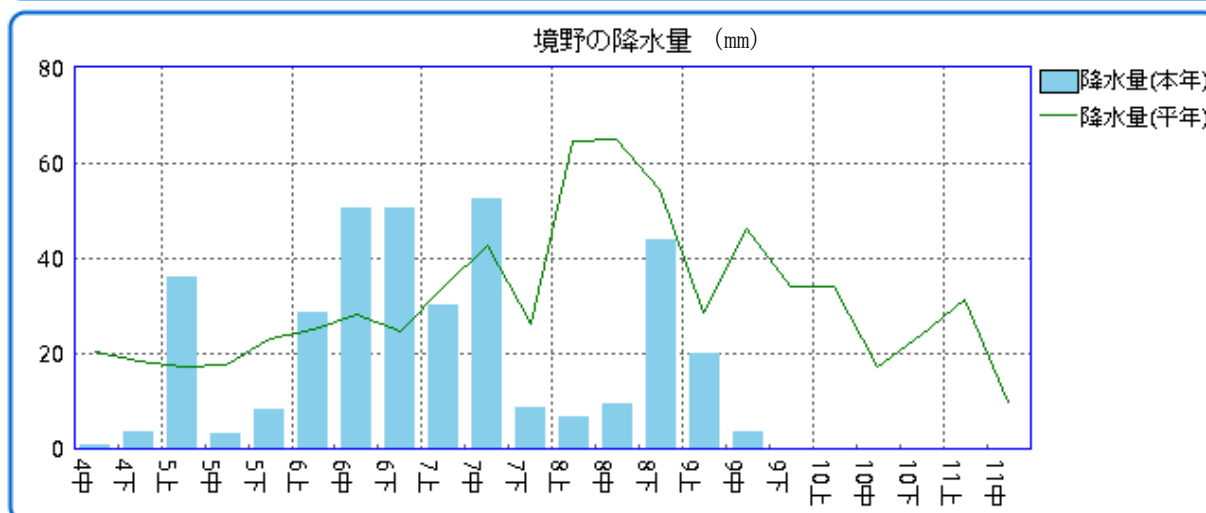
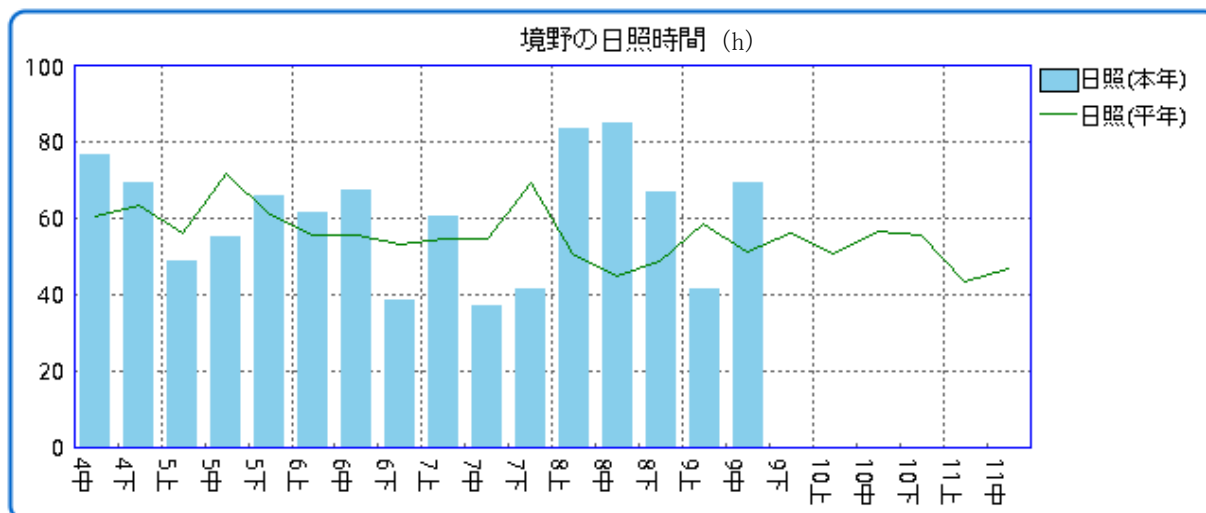
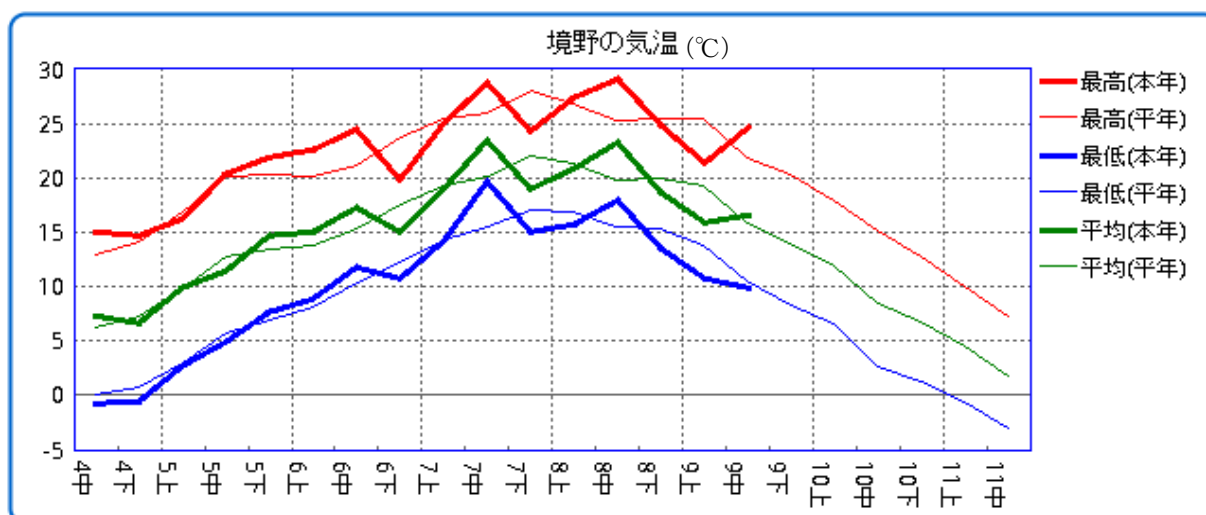
年次	初 霜 (年. 月. 日)	根 雪 始 (年. 月. 日)	通常の根雪終 (年. 月. 日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年. 月. 日)	耕鋤始 (年. 月. 日)	晩霜 (年. 月. 日)
本年	2025.10.11	2025.12.3	2026.3.29	117	2026.5.4	2026.4.9	2026.5.10
平年	10.13	12.13	4.3	112	4.27	4.20	5.12
比較	-2	-10	-5	5	7	-11	-2

注) 観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。

4) 気象表

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
2025年 9月	上旬	19.8	18.8	1.0	25.7	25.0	0.7	14.8	13.5	1.3	55.5	26.7	28.8	50.3	57.5	-7.2
	中旬	16.5	15.6	0.9	24.2	21.5	2.7	10.4	10.4	0.0	73.0	44.5	28.5	65.8	49.1	16.7
	下旬	14.5	13.8	0.7	21.3	20.3	1.0	9.1	8.1	1.0	56.5	29.7	26.8	70.0	56.0	14.0
10月	上旬	12.8	11.7	1.1	19.5	17.6	1.9	6.9	6.4	0.5	1.5	39.6	-38.1	66.9	51.0	15.9
	中旬	7.5	8.5	-1.0	13.3	15.5	-2.2	2.0	2.5	-0.5	1.0	17.1	-16.1	35.7	60.0	-24.3
	下旬	4.3	6.7	-2.4	10.7	12.9	-2.2	-0.8	1.2	-2.0	23.0	21.8	1.2	47.1	57.7	-10.6
11月	上旬	3.3	4.5	-1.2	8.5	10.1	-1.6	-1.0	-0.8	-0.2	72.0	25.7	46.3	45.3	42.8	2.5
	中旬	0.6	2.0	-1.4	5.9	7.5	-1.6	-4.1	-2.7	-1.4	8.0	10.9	-2.9	51.0	45.8	5.2
	下旬	2.1	-1.1	3.2	7.5	4.0	3.5	-2.1	-6.0	3.9	9.0	13.6	-4.6	48.3	46.0	2.3
12月	上旬	-2.8	-3.7	0.9	2.5	2.2	0.3	-9.0	-9.5	0.5	17.5	10.7	6.8	47.2	51.2	-4.0
	中旬	-7.5	-6.2	-1.3	-1.0	-0.4	-0.6	-14.6	-11.7	-2.9	60.5	5.1	55.4	43.6	46.7	-3.1
	下旬	-4.4	-7.5	3.1	-0.1	-1.8	1.7	-11.0	-13.2	2.2	15.5	17.4	-1.9	29.8	48.1	-18.3
2026年 1月	上旬	-10.4	-8.7	-1.7	-2.5	-2.6	0.1	-17.2	-15.1	-2.1	1.5	4.2	-2.7	50.2	47.3	2.9
	中旬	-7.8	-8.5	0.7	-2.3	-2.6	0.3	-14.1	-14.6	0.5	4.5	13.0	-8.5	54.7	47.1	7.6
	下旬	-10.8	-8.7	-2.1	-3.9	-3.2	-0.7	-16.3	-14.9	-1.4	0.0	11.6	-11.6	61.1	44.3	16.8
2月	上旬	-9.2	-10.1	0.9	-2.0	-3.6	1.6	-15.4	-17.1	1.7	0.5	6.1	-5.6	55.6	49.0	6.6
	中旬	-5.8	-6.6	0.8	-0.3	-0.6	0.3	-13.9	-13.5	-0.4	4.0	10.2	-6.2	40.0	45.3	-5.3
	下旬	-0.7	-7.3	6.6	4.8	-0.7	5.5	-6.9	-14.8	7.9	10.5	6.2	4.3	42.7	49.5	-6.8
3月	上旬	-1.5	-4.0	2.5	1.7	1.9	-0.2	-4.8	-10.8	6.0	18.0	20.5	-2.5	27.4	55.2	-27.8
	中旬	-0.2	-1.0	0.8	3.7	4.1	-0.4	-4.0	-6.9	2.9	1.5	9.9	-8.4	35.6	50.4	-14.8
	下旬	3.1	1.2	1.9	9.6	7.0	2.6	-3.2	-4.5	1.3	1.0	8.7	-7.7	84.0	71.8	12.2
4月	上旬	6.6	3.5	3.1	13.5	9.8	3.7	0.5	-2.3	2.8	6.0	12.7	-6.7	62.4	63.4	-1.0
	中旬	7.3	6.2	1.1	15.1	13.0	2.1	-0.7	0.1	-0.8	0.5	20.2	-19.7	76.6	60.5	16.1
	下旬	6.6	7.3	-0.7	14.7	14.2	0.5	-0.5	0.8	-1.3	3.5	18.2	-14.7	69.4	63.3	6.1
5月	上旬	9.9	9.8	0.1	16.3	16.8	-0.5	2.6	3.0	-0.4	36.0	17.1	18.9	48.9	56.1	-7.2
	中旬	11.5	12.8	-1.3	20.4	20.1	0.3	4.9	5.8	-0.9	3.0	17.4	-14.4	55.4	71.9	-16.5
	下旬	14.7	13.4	1.3	21.9	20.3	1.6	7.7	6.9	0.8	8.0	22.9	-14.9	66.0	61.2	4.8
6月	上旬	15.1	13.8	1.3	22.5	20.1	2.4	8.9	8.1	0.8	28.5	24.8	3.7	61.8	55.7	6.1
	中旬	17.2	15.4	1.8	24.5	21.1	3.4	11.7	10.3	1.4	50.5	28.1	22.4	67.5	55.8	11.7
	下旬	15.1	17.6	-2.5	19.8	23.7	-3.9	10.8	12.2	-1.4	50.5	24.4	26.1	38.7	53.0	-14.3
7月	上旬	19.0	19.3	-0.3	25.0	25.5	-0.5	14.2	14.3	-0.1	30.0	34.1	-4.1	60.6	54.5	6.1
	中旬	23.4	20.2	3.2	28.8	26.0	2.8	19.7	15.5	4.2	52.5	42.7	9.8	37.3	54.8	-17.5
	下旬	19.0	22.1	-3.1	24.3	28.1	-3.8	15.0	17.1	-2.1	8.5	26.0	-17.5	41.5	69.5	-28.0
8月	上旬	20.8	21.3	-0.5	27.3	26.8	0.5	15.7	16.8	-1.1	6.5	64.5	-58.0	83.7	50.5	33.2
	中旬	23.2	19.8	3.4	29.1	25.2	3.9	18.0	15.5	2.5	9.5	64.9	-55.4	85.2	44.9	40.3
	下旬	18.6	20.0	-1.4	24.8	25.5	-0.7	13.5	15.4	-1.9	44.0	54.2	-10.2	67.1	48.9	18.2
9月	上旬	15.9	19.2	-3.3	21.4	25.4	-4.0	10.7	13.8	-3.1	20.0	28.3	-8.3	41.4	58.5	-17.1
	中旬	16.6	15.8	0.8	24.6	21.9	2.7	9.9	10.5	-0.6	3.5	46.1	-42.6	69.3	51.3	18.0

注) 観測値は置戸町境野のアメダスによる（てん蔵の定期作況気象情報）。10年平均は前10か年の平均値である。



1) 春まき小麦 作 況：良

月	作況	事由
5月20日	平年並	調査圃場は融雪剤散布により3月23日に融雪期となった。4月上中旬の降水量は平年よりも少なかったため土壌の乾燥が早く、播種期は平年より2日早かった。播種が早く、4月中旬の平均気温が高いことから出芽期は平年より4日早かったものの、4月下旬、5月下旬の平均気温がやや低かったため、草丈は低かった。茎数は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
6月20日	やや不良	5月下旬～6月上旬の平均気温が高く生育が進み、出穂期は2日早い6月17日で、茎数は淘汰が進みやや少なかった。草丈は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。
7月20日	平年並	稈長、穂長、穂数は平年並であった。赤かび病の発生はわずかに見られた。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
8月20日	平年並	出穂期は2日早かったが（前報）、7月下旬の平均気温が極めて低かったため、成熟期は平年より2日遅い8月2日となり、登熟期間は平年より4日長かった。また、穂数は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
9月20日	良	登熟期間が平年より4日長かった（前報）ことから千粒重は平年を大きく上回り、子実重は115%と平年を上回った。容積重はやや重かった。 以上のことから、目下の作況は「良」である。

作況データ

調査項目		春よ恋		
		本年	平年	比較
播種期	(月. 日)	4. 15	4. 17	△ 2
出芽期	(月. 日)	4. 26	4. 30	△ 4
出穂期	(月. 日)	6. 17	6. 19	△ 2
成熟期	(月. 日)	8. 2	7. 31	2
草丈 (cm)	(5月20日)	19. 3	22. 1	△ 2. 8
	(6月20日)	74. 9	74. 3	0. 6
茎数 (本/㎡)	(5月20日)	605	618	△ 13
	(6月20日)	698	778	△ 80
稈長 (cm)	(7月20日)	88	92	△ 4
穂長 (cm)	(7月20日)	8. 4	8. 5	△ 0. 1
穂数 (本/㎡)	(7月20日)	586	627	△ 41
子実重 (kg/10a)		602	525	77
同上平年比 (%)		115	100	15
ブラウエル容積重 (g)		837	830	7
千粒重 (g)		45. 3	38. 5	6. 8
品質 (検査等級)			1	-

注) 平年値は前7か年中、令和3年(最豊)、令和4年(最凶)を除く5か年の平均。

2) とうもろこし（サイレージ用）

作 況：平年並

月日	作況	事由
6月20日	やや良	播種は平年より3日早い5月14日に行った。播種後の気温は平年よりやや高く推移し、出芽は平年より9日早かった。その後もやや高温で経過し、6月20日現在の草丈は平年より19cm高く、葉数は1.1枚多かった。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
7月20日	平年並	平年と比べ6月下旬が低温、6月下旬および7月中旬が寡照傾向で推移した。7月20日現在の草丈は平年より21cm高かったものの、葉数は平年並の13.0枚であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
8月20日	平年並	出芽が早くその後の生育も順調であったことから、平年と比べ開花期は5日、抽糸期は6日早かった。生育ステージが早く進み、節間伸長の鈍化も早まったことで、8月20日現在の草丈は平年より10cm低かった。一方で葉数は15.8枚と平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
9月20日	平年並	登熟が早く進んだため、収穫は平年より9日早い9月14日に行った。収穫時の熟度は黄熟初期～中期と平年並であり、生総重は平年並の6306kg/10aであった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

生育データ

調査項目		KD320		
		本年	平年	比較
播種期	(月・日)	5.14	5.17	△ 3
出芽期	(月・日)	5.27	6.05	△ 9
開花期	(月・日)	7.26	7.31	△ 5
抽糸期	(月・日)	7.25	7.31	△ 6
収穫期	(月・日)	9.14	9.23	△ 9
収穫時の熟度		黄熟初期～ 黄熟中期	黄熟初期～ 黄熟中期	-
草丈(cm)	(6月20日)	49	30	19
	(7月20日)	207	186	21
	(8月20日)	269	279	△ 10
稈長(cm)	(9月20日)*	234	247	△ 13
葉数(枚)	(6月20日)	5.8	4.7	1.1
	(7月20日)	13.0	12.5	0.5
	(8月20日)	15.8	15.3	0.5
生総重(kg/10a)		6306	6278	28
乾物茎葉重(kg/10a)			929	
乾物雌穂重(kg/10a)			1083	
乾物総量(kg/10a)			2012	
同上平年比(%)			100	
推定TDN収量(kg/10a)			1461	
同上平年比(%)			100	
総体の乾物率(%)			32.6	
乾雌穂重割合(%)			54.0	
有効雌穂割合(%)		102	100	2.0

注1) 平年値は前7か年中、令和元年（最凶）および令和3年（最豊）を除く5か年の平均。

注2) 推定TDN収量＝乾物茎葉重×0.582＋乾物雌穂重×0.850。

注3) 乾物収量や割合に関する一部の項目は、小数点以下の四捨五入などの計算方法により、表中の数値をもとに計算しても一致しない場合がある。

注4) 本年は9月7日に稈長の調査を実施した。

3) 大豆

作 況：やや良

月日	作況	事由
6月20日	平年並	播種は平年並の5月20日に行った。播種後はやや高温で経過したため、出芽期は平年より1日早い6月3日であった。出芽後の生育は順調に進み、主茎長、本葉数はともに平年並である。 以上により、目下の作況は「平年並」である。
7月20日	やや良	開花始は平年と同日の7月16日であった。生育は順調に進み、主茎長、本葉数および分枝数は平年を上回っている。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
8月20日	平年並	主茎長は平年よりも高かった。主茎節数、分枝数および着莢数は平年並である。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
9月20日	やや良	成熟期は平年より7日早い9月14日であった。主茎長は平年を上回り、主茎節数および分枝数は平年をやや上回った。着莢数および百粒重は平年を下回ったが、一莢内粒数は平年を上回ったため、子実重は平年比107%であった。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

生育データ

品種名		ユキホマレ		
調査項目		本年	平年	比較
播種期	(月・日)	5.20	5.20	0
出芽期	(月・日)	6.03	6.04	△ 1
開花始	(月・日)	7.16	7.16	0
成熟期	(月・日)	9.14	9.21	△ 7
主茎長 (cm)	(6月20日)	11.5	10.5	1.0
	(7月20日)	63.7	50.4	13.3
	(8月20日)	76.3	64.2	12.1
	(9月20日)	76.3	65.2	11.1
	(成熟期)	76.3	64.8	11.5
本葉 数(枚)	(6月20日)	1.5	1.4	0.1
	(7月20日)	8.4	7.5	0.9
主茎節数	(8月20日)	10.7	10.1	0.6
	(9月20日)	10.9	10.1	0.8
	(成熟期)	10.9	10.1	0.8
分枝数 (本/株)	(7月20日)	6.1	4.7	1.4
	(8月20日)	5.9	5.7	0.2
	(9月20日)	5.5	5.2	0.3
	(成熟期)	5.5	5.1	0.4
着莢数 (個/株)	(8月20日)	86.8	86.9	△ 0.1
	(9月20日)	71.6	82.6	△ 11.0
	(成熟期)	71.6	80.7	△ 9.1
一莢内粒数		2.09	1.85	0.24
子実重(kg/10a)		426	397	29
同上平年比(%)		107	100	7
百粒重(g)		32.7	34.3	△ 1.6
屑粒率(%)			1.5	
品質(検査等級)			2中	—

注1) 平年値は前7か年中、令和3年(最凶)、令和7年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 8月の着莢数は、莢の長さが2cm以上のものを示す。

3) 子実重は水分15%換算。

4) 品質(検査等級)は造りによる検査である。

4) 小豆

作 況：平年並

月日	作況	事由
6月20日	平年並	播種は平年より1日早い5月20日に行った。播種後はやや高温で経過したため、出芽期は平年より4日早い6月5日であった。出芽後の生育は順調に進み、主茎長、本葉数はともに平年並である。 以上により、目下の作況は「平年並」である。
7月20日	やや良	生育は順調に進み、開花始は平年より3～4日早い7月19日であった。主茎長、本葉数および分枝数は平年を上回っている。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
8月20日	やや良	「エリモショウズ」および「きたろまん」のいずれも、主茎長および主茎節数は平年を上回り、倒伏が発生している。「エリモショウズ」では、分枝数は平年並であるが、着莢数は平年を上回り、「きたろまん」では、分枝数および着莢数は平年を上回っている。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
9月20日	平年並	成熟期は9月9日であり、平年と比較して「エリモショウズ」では13日、「きたろまん」では11日早かった。主茎長は平年を上回ったが、主茎節数は平年並であった。「エリモショウズ」では、分枝数、着莢数、一莢内粒数および百粒重は平年並で、子実重は平年比104%であった。「きたろまん」では着莢数および百粒重は平年を下回ったが、分枝数および一莢内粒数は平年を上回り、子実重は平年比103%であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

生育データ

調査項目		エリモショウズ			きたろまん		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	△ 1
出芽期 (月.日)		6.05	6.09	△ 4	6.05	6.09	△ 4
開花始 (月.日)		7.19	7.23	△ 4	7.19	7.22	△ 3
成熟期 (月.日)		9.09	9.22	△ 13	9.09	9.20	△ 11
主茎長 (cm)	(6月20日)	4.1	3.6	0.5	4.4	3.5	0.9
	(7月20日)	41.3	18.5	22.8	45.0	18.1	26.9
	(8月20日)	80.7	67.3	13.4	90.7	70.6	20.1
	(9月20日)	84.7	72.8	11.9	96.0	76.4	19.6
	(成熟期)	84.7	72.0	12.7	96.0	75.2	20.8
本葉数 (枚)	(6月20日)	0.9	0.5	0.4	0.9	0.5	0.4
	(7月20日)	9.9	7.2	2.7	9.1	7.0	2.1
主茎節数	(8月20日)	16.1	14.3	1.8	14.7	13.8	0.9
	(9月20日)	14.4	14.7	△ 0.3	13.4	13.8	△ 0.4
	(成熟期)	14.4	14.8	△ 0.4	13.4	14.0	△ 0.6
分枝数 (本/株)	(7月20日)	3.4	3.1	0.3	4.6	2.6	2.0
	(8月20日)	4.4	4.5	△ 0.1	4.4	3.4	1.0
	(9月20日)	4.1	4.3	△ 0.2	3.7	3.2	0.5
	(成熟期)	4.1	4.3	△ 0.2	3.7	3.3	0.4
着莢数 (個/株)	(8月20日)	89.0	51.8	37.2	69.0	51.2	17.8
	(9月20日)	58.8	56.3	2.5	47.4	53.4	△ 6.0
	(成熟期)	58.8	57.2	1.6	47.4	55.5	△ 8.1
一莢内粒数		6.08	6.31	△ 0.23	7.00	6.17	0.83
子実重(kg/10a)		410	394	16	409	397	12
同上平年比 (%)		104	100	4	103	100	3
百粒重 (g)		13.6	14.2	△ 0.6	15.3	16.3	△ 1.0
屑粒率 (%)			7.5			6.1	
品質 (検査等級)			2 下	—		3 上	—

注1) 平年値は前7か年中、令和5年(最凶)、令和7年(最豊)を除く5か年の平均。

- 2) 8月の着莢数は、莢の長さが3cm以上のものを示す。
- 3) 子実重は水分15%換算。
- 4) 品質(検査等級)は造りによる検査である。

5) 菜豆

作 況：良

月日	作況	事由
6月20日	平年並	播種は平年より1日早い5月20日に行った。播種後はやや高温で経過したため、出芽期は平年より1日早い6月3日であった。出芽後の生育は順調に進み、草丈、本葉数はともに平年並である。 以上により、目下の作況は「平年並」である。
7月20日	やや良	6月下旬の低温と寡照による影響を受け、開花始は平年より3日遅い7月8日であった。7月上旬以降の気温は平年並から高く経過した結果、生育は順調に進み、草丈、本葉数および分枝数は平年を上回っている。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
8月20日	やや良	生育が順調に進んだ結果、草丈、主茎節数、分枝数および着莢数は、平年を上回っている。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
9月20日	良	成熟期は平年より1日早い8月23日であった。草丈、主茎節数および分枝数は平年を上回った。一莢内粒数は平年並であるが、着莢数および百粒重は平年を上回ったため、子実重は平年比143%であった。 以上のことから、目下の作況は「良」である。

生育データ

調査項目		大正金時		
		本年	平年	比較
播種期	(月. 日)	5. 20	5. 21	△ 1
出芽期	(月. 日)	6. 03	6. 04	△ 1
開花始	(月. 日)	7. 08	7. 05	3
成熟期	(月. 日)	8. 23	8. 24	△ 1
草丈 (cm)	(6月20日)	10. 5	10. 7	△ 0. 2
	(7月20日)	51. 7	41. 3	10. 4
	(8月20日)	53. 3	41. 3	12. 0
	(成熟期)	55. 6	41. 6	14. 0
本葉数 (枚)	(6月20日)	1. 7	1. 5	0. 2
	(7月20日)	3. 6	3. 3	0. 3
主茎節数	(8月20日)	5. 6	5. 2	0. 4
	(成熟期)	5. 6	5. 3	0. 3
分枝数 (本/株)	(7月20日)	9. 3	5. 3	4. 0
	(8月20日)	7. 8	5. 4	2. 4
	(成熟期)	7. 7	5. 5	2. 2
着莢数 (個/株)	(8月20日)	25. 5	21. 7	3. 8
	(成熟期)	26. 2	21. 2	5. 0
一莢内粒数		2. 85	2. 78	0. 07
子実重(kg/10a)		408	286	122
同上平年比 (%)		143	100	43
百粒重 (g)		70. 6	59. 1	11. 5
屑粒率 (%)			17. 0	
品質 (検査等級)			2 中	—

注1) 平年値は前7か年中、令和3年(最凶)、令和4年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重は水分15%換算。

3) 品質(検査等級)は造りによる検査である。

6) ばれいしょ 作 況：良

月日	作況	事由
6月20日	平年並	植え付けは平年並の5月11日に行い、昨年の高温の影響で生理的齢が進行した種いもを供試した。植え付け後の平均気温は変動があったものの概ね平年並であったため、萌芽期は平年並であった。萌芽後の6月上旬～中旬は平均気温が高く、降水量および日照時間は平年並から多く推移したため両品種とも茎長はやや長かった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
7月20日	平年並	萌芽後の6月の平均気温は変動があったものの、概ね平年並であったことから開花始は平年並であった。6月下旬～7月中旬は降水量が平年より多く、寡照であったため茎長は平年よりやや長く、徒長傾向であった。一方、茎数については平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
8月20日	平年並	7月下旬～8月中旬の平均気温は概ね平年並、少雨で推移し、8月上旬～中旬の日照時間は多かった。このことから、でん粉価は「男爵薯」でやや高く、「コナヒメ」では高かったが、両品種の上いも重は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
9月20日	良	「男爵薯」の枯ちよう期は平年より6日遅い9月10日であった。上いも数は平年より多く、上いも平均重は軽かった。上いも重は平年並で、でん粉価はやや高かった。8月下旬～9月中旬の日照時間は概ね平年並、平均気温は低く推移した。このことから「コナヒメ」は順調に生育し、上いも重、でん粉価ともに平年値を上回り、でん粉重は平年比134%とかなり多収であった。 以上のことから、目下の作況は「良」である。

生育データ

調査項目		男爵薯			コナヒメ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.11	5.11	0	5.11	5.11	0
萌芽期	(月.日)	5.28	5.28	0	5.30	5.30	0
開花始	(月.日)	6.27	6.27	0	7.02	7.02	0
枯ちよう期	(月.日)	9.10	9.04	6		9.26	
茎長(cm)	(6月20日)	28	24	4	22	15	7
	(7月20日)	59	50	9	74	69	5
	(8月20日)	60	50	10	83	80	3
茎数(本/株)	(6月20日)	5.3	4.2	1.1	3.0	3.2	△0.2
	(7月20日)	5.1	4.6	0.5	3.2	3.1	0.1
上いも重(kg/10a)	(8月20日)	5157	5321	△164	4803	4669	134
	(9月20日)	5541	5636	△95	7006	5665	1341
でん粉価(%)	(8月20日)	16.0	15.5	0.5	22.0	19.4	2.6
	(9月20日)	15.8	15.3	0.5	21.9	20.3	1.6
でん粉重(kg/10a)	(9月20日)	-	-	-	1465	1091	374
上いも数(個/株)		14.5	11.9	2.6		12.0	
上いも平均重(g)		87	106	△19		114	
上いも重(kg/10a)		5541	5636	△95		5914	
同上平年比(%)		98	100	△2		100	
でん粉価(%)		15.8	15.3	0.5		20.9	
でん粉重(kg/10a)		-	-	-		1177	
同上平年比(%)		-	-	-		100	

注) 平年値は前7か年中、令和2年(最凶)、令和7年(最豊)を除く5か年の平均

7) てんさい

作 況：平年並

月 日	作 況	事 由
5月20日	平年並	移植苗の播種は、平年並の3月23日に行った。育苗中の生育は良好であった。移植は平年より3日遅い5月7日に行った。移植前後の降水量が多く土壌は湿潤で、苗の活着は良好であった。その後、5月中旬の気温は平年よりやや低かったが、草丈、生葉数、茎葉重は平年と同程度で、生育の遅れは見られなかった。 以上のことから、目下の作況は平年並である。
6月20日	やや良	直播栽培の播種は平年並の5月7日に行い、出芽期は平年より2日遅い5月18日であった。5月下旬から6月中旬にかけて気温は平年より高く、また降水量は5月下旬に少なかった以外は十分にあった。生葉数は平年と同程度であったものの、移植および直播栽培の草丈や茎葉重、移植栽培の根重は平年を上回った。 以上のことから、目下の作況はやや良である。
7月20日	良	6月下旬から7月中旬にかけて概して降水量が多く、土壌が湿潤な状態が続いた。それに加えて、7月中旬に気温が高く生育が急速に進み、移植並びに直播栽培の草丈、茎葉重および根重は平年を大きく上回った。 以上のことから、目下の作況は良である。
8月20日	平年並	草丈は平年を上回り、生葉数および茎葉重は平年と同程度であった。一方で、根重は平年を下回り、7月下旬以降の少雨により地下部の生育が緩慢になっていると考えられた。 以上のことから、目下の作況は平年並である。
9月20日	平年並	移植栽培および直播栽培の「ライエン」の根重は平年を下回ったが、根中糖分は平年を上回った。また、移植栽培の「アマホマレ」の根重および根中糖分は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は平年並である。

生育データ

調査項目		移植						直播		
		ライエン			アマホマレ			ライエン		
		本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	3.23	3.24	△ 1	3.23	3.24	△ 1	5.07	5.06	1
移植期	(月.日)	5.07	5.04	3	5.07	5.04	3	－	－	－
出芽期	(月.日)	－	－	－	－	－	－	5.18	5.16	2
収穫期	(月.日)		10.19			10.19			10.19	
草丈 (cm)	(5月20日)	6.0	6.7	△ 0.7	5.4	6.9	△ 1.5	－	－	－
	(6月20日)	26.9	21.3	5.6	29.3	23.0	6.3	20.0	16.7	3.3
	(7月20日)	64.3	51.6	12.7	65.8	54.8	11.0	56.6	51.8	4.8
	(8月20日)	66.8	57.2	9.6	68.7	63.3	5.4	61.5	60.3	1.2
	(9月20日)	64.4	57.8	6.6	67.1	66.8	0.3	62.4	62.7	△ 0.3
生葉数 (枚)	(5月20日)	5.3	6.3	△ 1.0	4.2	5.1	△ 0.9	－	－	－
	(6月20日)	13.5	13.3	0.2	12.6	11.9	0.7	10.8	9.6	1.2
	(7月20日)	24.5	22.4	2.1	22.0	21.8	0.2	23.6	21.6	2.0
	(8月20日)	26.8	28.6	△ 1.8	25.3	26.7	△ 1.4	25.9	27.0	△ 1.1
	(9月20日)	31.3	31.0	0.3	31.1	27.6	3.5	26.7	28.6	△ 1.9
茎葉重 (g/個体)	(5月20日)	1.1	1.2	△ 0.1	0.9	1.1	△ 0.2	－	－	－
	(6月20日)	85	55	30	86	56	30	33	26	7
	(7月20日)	679	477	202	753	535	218	617	459	158
	(8月20日)	774	808	△ 34	855	894	△ 39	711	780	△ 69
	(9月20日)	737	759	△ 22	950	894	56	655	777	△ 122
根重 (g/個体)	(6月20日)	18	14	3.7	18	14	4.4	3.0	2.7	0.3
	(7月20日)	329	279	50	320	279	41	248	206	42
	(8月20日)	700	761	△ 61	675	760	△ 85	559	647	△ 88
	(9月20日)	987	1033	△ 46	1038	1030	8	813	935	△ 122
根周 (cm)	(7月20日)	25.0	23.6	1.4	24.1	23.1	1.0	23.3	21.5	1.8
	(8月20日)	33.2	34.0	△ 0.8	31.4	32.5	△ 1.1	30.7	32.2	△ 1.5
	(9月20日)	37.4	38.6	△ 1.2	38.1	37.1	1.0	36.1	37.1	△ 1.0
根中糖分 (%)	(9月20日)	17.02	16.27	0.75	16.11	16.16	△ 0.05	17.19	16.50	0.69
茎葉重(kg/10a)	(収穫期)		5773			6173			5716	
根 重(kg/10a)	(収穫期)		7982			7073			7091	
同上平年比 (%)			100			100			100	
根中糖分 (%)	(収穫期)		17.42			17.90			17.86	
同上平年比 (%)			100			100			100	
糖量(kg/10a)	(収穫期)		1388			1265			1264	
同上平年比 (%)			100			100			100	

注1) 平年値は前7か年中、令和3年（最豊）令和5年（最凶）を除く5か年の平均。

8) 牧草（チモシー）

作 況：良

月日	作況	事由
5月20日	やや良	萌芽期は平年より16日早い3月31日で、冬損は認められなかった。萌芽後の気温は4月下旬以降平年並からやや低く、降水量は平年より少なく推移したものの、萌芽が早かったため5月20日現在の草丈は平年より10cm高い54cmであり、被度は100%であった。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
6月20日	良	1番草の収穫は平年より3日早い6月12日であった。5月下旬から6月上旬にかけ平均気温がやや高く、1番草の出穂始および出穂期は6月5日および6月10日でいずれも平年より4日早かった。刈取時の草丈は平年と同程度であったが、乾物収量は平年比130%であった。 以上のことから、目下の作況は「良」である。
7月20日	良	1番草収穫直後の平均気温は高かったもののその後は平年並からやや低温で推移した。一方で降水量は期間を通じて平年並から多かったことから、2番草再生時の草丈は平年より5cm高く再生は順調である。 以上のことから、目下の作況は「良」である。
8月20日	良	2番草の収穫は平年より1日早い8月3日に行った。1番草収穫後は7月下旬を除いて降水量が平年並から多く推移したことから、2番草の再生が順調であり、収穫時の草丈は平年より15cm高い72cmであった。乾物収量は平年比204%とかなり多く、1番草と2番草の合計乾物収量は平年比150%であった。 以上のことから、目下の作況は「良」である。
9月20日	良	2番草を収穫した8月3日以降8月上旬は低温で経過し、8月上中旬ともに降水量が少なかったことから3番草の再生はやや緩慢であり、刈取後25日時点の草丈は平年より13cm低い26cmであった。一方で、このまま3番草が低収となった場合でも全番草を合わせた年間合計乾物収量は平年を大きく上回る見込みである。 以上のことから、目下の作況は「良」である。

生育データ

品種名		なつちから		
調査項目		本年	平年	比較
萌芽期	(月. 日)	3. 31	4. 16	△ 16
冬損程度		1. 0	1. 0	0
被度 (%)	(5月20日)	100	100	0
	2番草再生時	100	100	0
出穂始	(月. 日)	6. 05	6. 09	△ 4
出穂期	(月. 日)	6. 10	6. 14	△ 4
出穂程度	1番草	7. 3	7. 2	0
節間伸長程度	2番草	4. 8	3. 9	0. 9
収穫日 (月. 日)	1番草	6. 12	6. 15	△ 3
	2番草	8. 03	8. 04	△ 1
	3番草		10. 03	
倒伏程度	1番草	1. 0	1. 0	0. 0
病害罹病程度	1番草	1. 0	1. 0	0. 0
	2番草	2. 0	2. 0	0. 0
	3番草		2. 7	
草丈 (cm)	(5月20日)	54	44	10
	(6月5日)	88	74	14
	1番草	99	97	2
	2番草再生時	39	34	5
	2番草	72	57	15
	3番草再生時	26	39	△ 13
	3番草		43	
生草収量 (kg/10a)	1番草	2, 803	2, 293	510
	2番草	1, 419	713	706
	1+2番草計		3, 006	
	3番草		516	
	合 計		3, 522	
乾物率 (%)	1番草	25. 0	23. 6	1. 4
	2番草	28. 2	28. 3	△ 0. 1
	3番草		29. 9	
乾物収量 (kg/10a)	1番草	700	538	162
	同上平年比 (%)	130	100	30
	2番草	401	197	204
	同上平年比 (%)	204	100	104
	1+2番草計	1, 101	735	366
	同上平年比 (%)	150	100	50
	3番草		153	
	同上平年比 (%)		100	
	合 計		888	
	同上平年比 (%)		100	

注1) 平年値は前7か年のうち令和5年（最凶）、令和6年（最豊）を除いた前5か年の平均。

注2) 冬損程度、倒伏程度および病害罹病程度は1:無または微～9:甚。病害は主に斑点病。

注3) 出穂程度および節間伸長程度は1:無～9:極多。

令和8年度 北見農試 定期作況報告

2. 耕種概要

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株 本数	播種粒数 (粒/㎡)	播種量 (kg/10a)	株数 (株/10a)
1. 秋まき小麦	5.4	4	ひまわり	20	ドリル	—	255	—	—
2. 春まき小麦	6.0	4	てんさい	30	条播	—	340	—	—
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75	17.8	1	—	—	7,491
4. 大 豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
5. 小 豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
6. 菜 豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	緑肥えん麦	75	30	1	—	—	4,444
8. てんさい	39.6	3	緑肥えん麦	60	23.8	1	—	—	7,003
9. 牧 草 (チモシー)	2.7	4	緑肥えん麦	30	条播	—	—	2.0	—

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	5.6	17.5	7.0	3.5	—	起生期追肥 N : 5.0	2年目草地 年間3回分施
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—		
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000	炭カル : 150	
4. 大 豆	1.8	15.0	7.8	3.0	—		
5. 小 豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
6. 菜 豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0	—		
8. てんさい	15.0	30.0	12.3	6.8	—		
9. 牧 草 (チモシー)	15.0	15.0	15.0	3.0	—	〔 造成時 炭カル : 200 ダブリン : 30 〕	